

横浜市インフルエンザ流行情報 1号

横浜市健康福祉局健康安全課 / 横浜市衛生研究所

《トピックス》

横浜市内がインフルエンザの流行期に入りました。

【概況】

2018年第48週(11月26日～12月2日)の定点^{※1}あたりの患者報告数は、横浜市全体で **1.10** と、流行開始の目安となる 1.00 を上回りました。例年、インフルエンザは12月頃から3月頃まで流行します。

学級閉鎖等の発生は、今シーズンは第36週(9月3日～9日)から報告されており、現在(12月5日)までに合計15件が報告されています(主に小学校)。

今シーズンの第48週までの迅速診断キットの結果は、累計で **A型 97.8%**、**B型 2.2%** と、A型が多く検出されています。全国のウイルス分離・検出状況^{※2}では、AH1pdm型、次いでAH3型が多く検出されており、横浜市でも同様の傾向です(第47週現在、AH1pdm型29件、AH3型8件、B型0件)。

今後、インフルエンザの本格的な流行が予想されるため、正しい手洗い^{※3}等の予防や早期受診などの対策^{※4}が重要です。

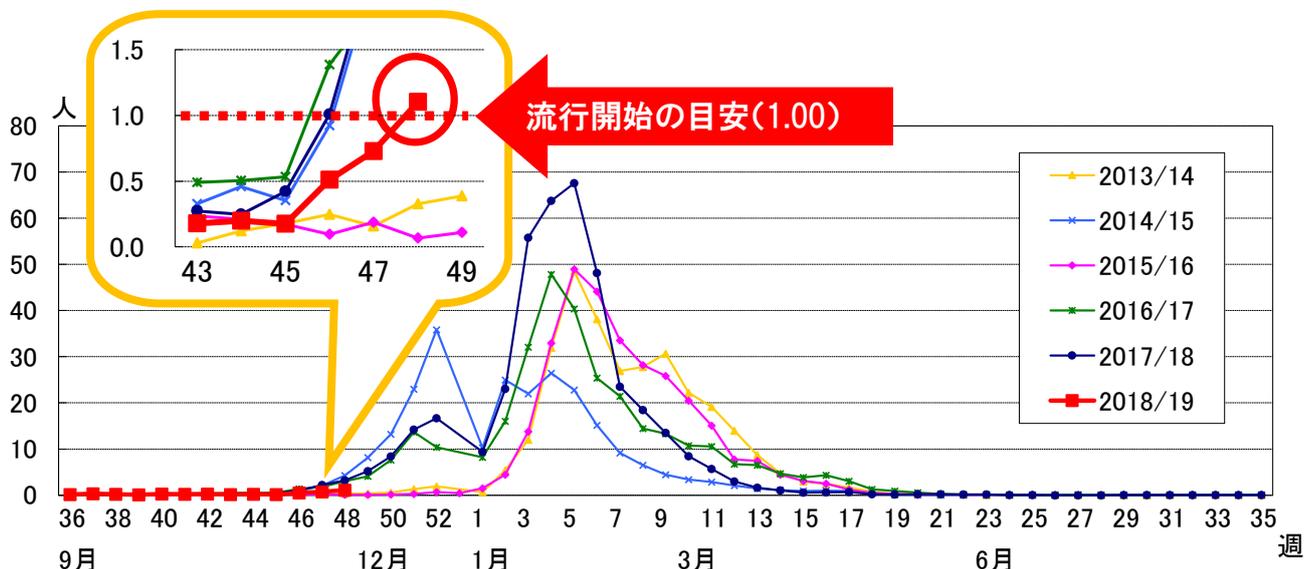
※1 定点とは、定期的にインフルエンザ患者発生状況を報告していただいている医療機関(市内153か所)のことで、そこから報告された患者数の平均値が定点あたりの患者報告数です。

※2 [インフルエンザウイルス分離・検出速報\(国立感染症研究所\)](#)

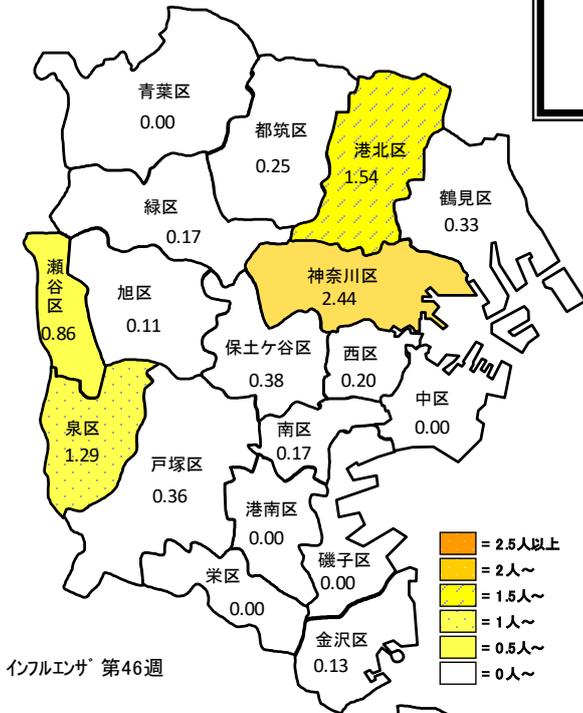
※3 [横浜市保健所ホームページ](#)(「正しい手洗い方法」および、掲示用ポスター「石けんで『手』を洗おう」をトップページに掲載しておりますので、是非ご活用ください)

※4 [市民向けインフルエンザ予防チラシ\(横浜市\)](#)

○市内流行状況:市全体の定点あたりの患者報告数は、第45週で0.18、第46週で0.51、第47週で0.73と増加し、第48週で1.10となり、流行開始の目安である1.00を上回りました。



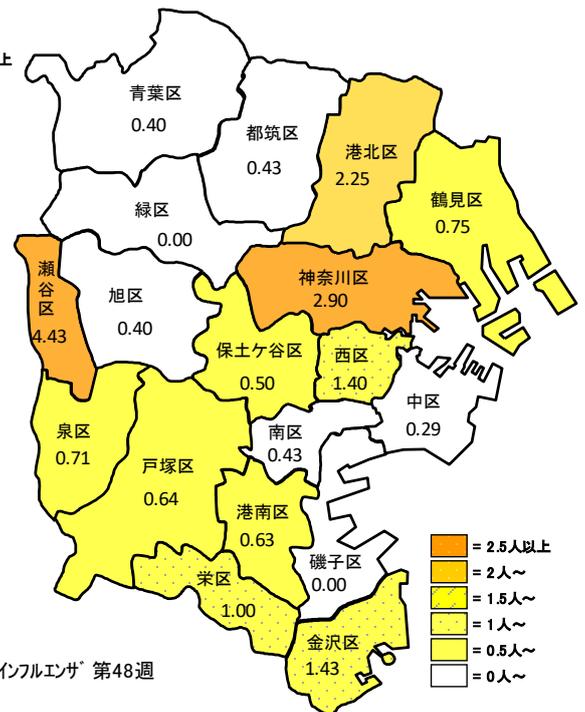
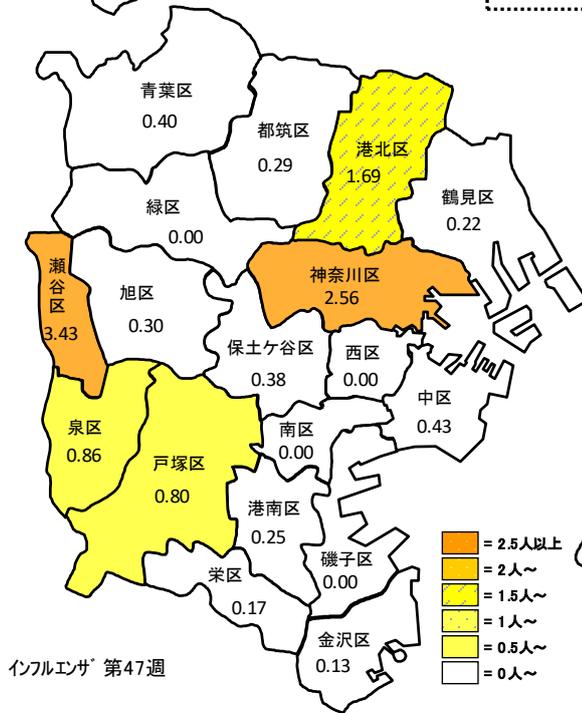
地図で表した直近3週間の区別流行状況
(塗り分けの数字は定点あたり報告数)



《参考》

昨シーズン(2017/18年)の流行推移

- ・流行の開始【定点あたり1.00超】
第46週(11月13日~19日)
- ・流行注意報発令【定点あたり10.00超】
第51週(12月18日~24日)
- ・流行警報発令【定点あたり30.00超】
第3週(1月15日~21日)
- ・流行警報解除【定点あたり10.00未満】
第10週(3月5日~11日)



※参考リンク

近隣自治体の流行状況

- [神奈川県](#)
- [川崎市](#)
- [東京都](#)

全国の流行状況

- [国立感染症研究所](#)